NPO日本朗読文化協会

Rodoku News

朗読ニュース

2024年
早春号

ご挨拶

「不思議な力」

月日は変わらず巡りきます。人々は人生を区切り区切り、生きていきます。そして、どんなに苦しい日々が訪れても、こころの歌を作り続けてきました。

協会の皆様は歌を作らなくとも多くの作品の中の57577の歌を朗読することがおありと思います。私たちは直接歌を作らなくても、和歌短歌に接することが何と多いことでしょう。考えてみれば『源氏物語』の中でも歌の数は約800首。物語に惹きこまれつつ、その人物の心は歌の中に込められていることに改めて気づきます。

『源氏物語』の後も前の時代も歌は変わらず57577でした。ではいつから日本ではこの形だったのでしょうか…古事記の中の須佐之男の命の歌が最初と言われています。

八雲立つ　出雲八重垣　妻籠みに　八重垣作る　その八重垣を（新妻を新しい家に入ってもらうために八重垣をつくる、その八重垣よ）

57577…長い年月少しも変わらず現代にいたるまで続いてきた言葉の形、日本語の音節でしょうか。5と7の持つ言葉の響き、短く気持ちよく柔軟で深く、時代を越えて変わらない、私たちの言語の持つ形と心と力…改めて考えさせられます。大事によみたいものです。

名誉会長　加賀美幸子

20周年の節目を迎える「朗読の日」

新年を迎えて何か新しいことを決意する訳でないが何やら清々しく身が引き締まる気持ちがします。この気持ちは今年の「朗読の日」が20周年の節目を迎えることにあるようです。2002年以来休みなく続けてきた「朗読の日」は新型コロナウイルス感染症の影響を受け２年間の中止を余儀なくされました。私たちはこの災禍を乗り越え、大きな節目へと繋いできました。実行委員会は新たに迎えた演出家の下、一味違った「朗読の日」を目指して動き出しております。プロもあこがれる銀座博品館の舞台。その舞台に立つ出演者は緊張と不安を抱えて備えることでしょう。協会一丸となって会場を満席にし、20周年の節目に相応しい舞台の幕を開けたいと思います。「朗読の日」がさらに節目を重ね、進化していくことを楽しみにしております。

理事長　伊澤逸平

『少しでも』

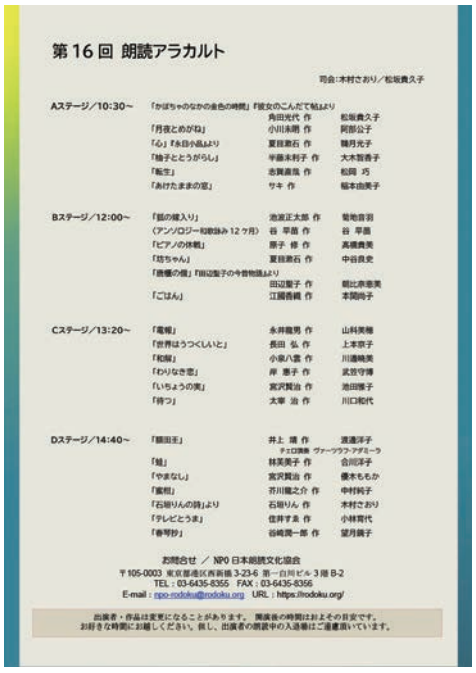
熊倉一雄、納谷悟朗、山田康雄、太田淑子という名前を見て分かる方、初見の方いらっしゃるかと思いますが、この方々は私の所属するテアトル・エコーという劇団の先輩俳優です（みんな旅立たれましたが）。間もなく75周年を迎える劇団の初期は、副業として声の仕事（アテレコ）で稼いでいました。今でこそ憧れの職業の一つになりましたが「声優」という言われ方を先輩方は嫌っていました。

私は「声の仕事」には向かない、と８年程在籍して退団。約10年後に文芸・演出部に再入団して今に至ります。声を主要な武器（例えが物騒ですみません）とする朗読は、とっつきやすくてその分難しいジャンルです。芝居畑の私が関わることで、皆様の朗読にとって少しでも良い刺激になればと願っている次第です。

どうぞよろしくお願い致します。

演出家　永井寛孝

第16回 朗読アラカルト



第16回 朗読アラカルト

司会：木村さおり／松坂貴久子

Aステージ／10:30～
「かぼちゃのなかの金色の時間」『彼女のこんだて帖』より　角田光代 作　松坂貴久子
「月夜とめがね」　小川未明 作　阿部公子
「心」『永田小説』より　夏目漱石 作　鵜月光子
「柚子ととうがらし」　半藤末利子 作　大木智香子
「転生」　志賀直哉 作　松岡 巧
「あけたままの窓」　サキ 作　稲本由美子

Bステージ／12:00～
「狐の嫁入り」　池波正太郎 作　菊地音羽
〈アンソロジー和歌詠み 12ヶ月〉　谷 早苗 作　谷 早苗
「ピアノの休戦」　原子 修 作　高橋貴美
「坊ちゃん」　夏目漱石 作　中谷良史
「唐傘の傘」『田辺聖子の今昔物語』より　田辺聖子 作　朝比奈恵美
「ごはん」　江國香織 作　本間尚子

Cステージ／13:20～
「竜蝦」　永井龍男 作　山科英雅
「世界はうつくしいと」　長田 弘 作　上本京子
「和服」　小泉八雲 作　川邊純美
「わりなき恋」　岸 惠子 作　武笠守博
「いちょうの実」　宮沢賢治 作　池田張子
「待つ」　太宰 治 作　川口和代

Dステージ／14:40～
「鼎田玉」　井上 靖 作　渡邊洋子
チェロ演奏　ヴァーツラフ・アダミーラ
「鯉」　林芙美子 作　合川洋子
「やまなし」　宮沢賢治 作　優木ももか
「蜜柑」　芥川龍之介 作　中村純子
「石割りんの詩」より　石割りん 作　木村さおり
「テレビとうま」　佐井寿美 作　小林育代
「春琴抄」　谷崎潤一郎 作　望月鈴子

お問合せ ／ NPO 日本朗読文化協会
〒105-0003 東京都港区西新橋 3-23-6 第一白川ビル 3 階 B-2
TEL：03-6435-8355 FAX：03-6435-8356
E-mail：npo-rodoku@rodoku.org URL：https://rodoku.org/

出演者・作品は変更になることがあります。開演後の時間はおよその目安です。
お好きな時間にお越しください。但し、出演者の朗読中の入退場はご遠慮願いています。

受付準備

シンプル・イズ・ベスト

第16回「朗読アラカルト」は、プチ・リニューアルをしました。

選曲は「朗読の日」でもお世話になっている園田芳伸さんでしたが、演出は倉田と永井寛孝さんの二人体制で臨み、音響スタッフとして山崎哲也さん、照明に女性のいろりさんが新たに参加してくれました。会場もいつもの高輪区民ホールから、六本木の麻布区民ホールに。

今回の基本コンセプトは「シンプル・イズ・ベスト」。

できるだけ余計なものをそぎ落とし、これ以上削るものがないという状態を心掛けました。「単純であることは究極の洗練だ」とは、かのレオナルド・ダ・ヴィンチの言葉。

次回の「朗読アラカルト」も、洗練された「シンプル・イズ・ベスト」をめざしたいと思います。

演出　倉田ひさし

第16回朗読アラカルト ～笑顔で終えて～

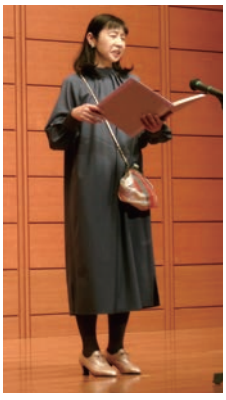
2023年12月6日麻布区民ホールで開催されました。

25名の出演。演出の倉田氏、永井氏が本読みから本番まで指導して下さいました。

遠方の方はZoomでの本読み。バラエティに富んだ作品の数々、そして出演者の努力、スタッフの協力もあり、当日160名余がホールに集いましたが、皆笑顔の暖かい会となりました。Aステージを観に来た方から、面白いので最後まで観ましたという声を頂き、嬉しかったです。協力して下さった皆さまに感謝いたします。

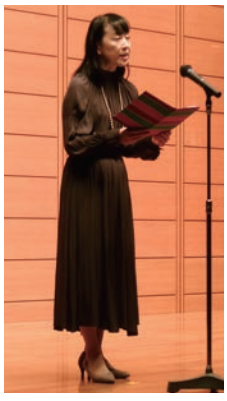
実行委員長　稲本由美子

初出演者のひとこと …… A



◆阿部公子（Aステージ）

初参加の大舞台で緊張、実力不足を痛感しているところではありますが、それ以上に、素晴らしい楽しい時間をいただきました。舞台を支えてくださった皆様に感謝の気持でいっぱいです。どうもありがとうございました。



◆鵜月光子（Aステージ）

とても緊張致しましたが、あっという間の10分でした。自身の朗読の出来はおいておきますが、出演者の皆様の多彩な作品選びに、自分の日頃の心構えの甘さを痛感いたしました。刺激的な時間を過ごす事ができました。

◆松岡巧（Aステージ）

札幌から初参加させて頂きました。ようやく東京デビューが出来て嬉しい限りです。10分で上手く伝わるか心配でしたが、高校大学の同級生達がお世辞にもほめてくれたので安心しました。朗読をやって来て良かったです。

Aステージ出演前

⬆ＡＢ司会：木村さおり
➡Ａステージカーテンコール

⬆ＣＤ司会：松坂貴久子
➡Ｃステージカーテンコール

B

➡Ｂステージカーテンコール

D

➡Ｄステージ出演前

C

◆山科美穂（Cステージ）

先生や演出家の方からいただいた様々なアドバイス。頭では分かっていても、実際に表現するのは難しい…またスタッフとして多くの方が関わられ、朗読を大切にする思いが伝わってきました。良い経験になりました。

◆上本京子（Cステージ）

とても楽しいひとときでした。皆様の朗読を拝聴し、皆様の朗読愛、その熱量を感じました。丁寧にご指導くださった倉田先生、初めての参加で落ち着かない私を気遣ってくださったスタッフの皆様、ありがとうございました。

◆川邊暁美（Cステージ）

Zoomでの本読み、日帰り可能な時間帯での出演と、地方在住者に配慮してくださったお蔭で舞台に立つことができ、出演の皆様の朗読、そして協会の運営から朗読の心を学ばせていただけました。心から感謝しています。

◆優木ももか（Dステージ）

リハーサルから細かくzoomでご指導頂きとても勉強になりました。当日も温かなスタッフの皆様、共演者の方々の中とても楽しい充実した時間を過ごさせて頂きました。来年に向けて更に精進したいと思います♪

◆小林育代（Dステージ）

初参加は新鮮で楽しい経験でした。裏方のスタッフの皆さんと、そして見てくださっている方々も一緒に一つの「世界」を作りあげていくような気持ちでわくわくしました。お世話になった方々に心から感謝申し上げます。

➡Ｄステージカーテンコール

第16回「朗読アラカルト」実行委員
稲本由美子（実行委員長）・木村さおり・田中邦子・山村都

スタッフ（初司会者）のひとこと

◆松坂貴久子

出演する皆さんの背中をそっと押しエールを送る気持ちでした。相方の木村さんのレクチャーのお陰で何とか務めることができたでしょうか。貴重な経験をありがとうございました。スタッフの阿吽の呼吸には感動しました。

客席からひとこと

◆こんな素敵なイベントが無料で開かれているなんて！
◆朗読アラカルトのタイトル通り、作品も多岐にわたりそれぞれの作品を堪能できました。
◆演出、音楽も効果的で、目で耳で楽しめました。
◆博品館とも違い、舞台との距離も近く温かな会でした。
◆最後まで飽きることなく、あっという間に時間が経ってしまいました。

協会の活動報告

●新入会員オリエンテーション

2023年8月2日開催。5名の方が参加して下さいました。協会の歴史、機構、行事等の説明。ボランティアグループかもめの紹介。講座の説明等をした後は、皆様と朗読を楽しみました。

参加者
（敬称略）
谷早苗・安井裕子・京谷由香里・島村隆一・優木ももか

稲本由美子

●千葉いきいき大学

2023年８月14日千葉市高齢者文化福祉事業「教養文化講座」を担当致しました。前半は「声の元気は命の元気」をテーマに参加型の講演、後半は源氏物語・平家物語や現代小説を、飯島晶子・大串洋昭・菊地音羽が朗読。 酷暑の中300名もの皆様の参加に感激でした。

飯島晶子

●江戸川区立葛西図書館朗読

2023年8月26日（土） 19：00より、葛西図書館にて、「真夏の夜の朗読会～こわいはなし～」が開催されました。永井喜代子、岡田久美子、松島邦の３名が朗読。夜の開催にもかかわらず満員御礼で、事後のアンケートも大好評でした。

前尾津也子

●Aqua sports& spa

2023年9月30日スポーツジムからの依頼で朗読会を行いました。阿川佐和子・檀ふみのエッセイ。「声と心と体の関係」のお話。池波正太郎「お千代」木内昇「てのひら」朗読いたしました。お客様はお茶とケーキを召し上がりながら楽しんで下さいました。

河崎早春・稲本由美子

●高輪朗読会

お待たせしました！多くのお客さまに愛され2005年より118回も続いた「八重洲朗読会」。

2023年９月より会場を高輪区民センター展示ギャラリー室に替えて「高輪朗読会」として再スタート。第１回目より沢山のお客さまにお越しいただき大盛況。みなさまのご協力に心より感謝です！

これからもず～っと続きますように願っております。

田中邦子

第１回
2023年 9月9日
中村悦子、田中邦子
清水美代子、阿部俐奈
稲本由美子（司会）

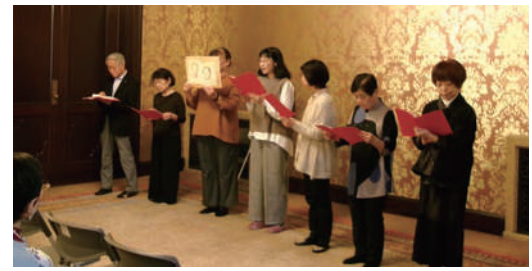
第２回
2023年11月18日
松田萌子、松島邦
岡田久美子、河崎早春
前尾津也子（司会）

第３回
2024年 1月13日
三上実枝子、山村都
前尾津也子、岩瀬弥永子
渡部玲子（司会）

●朗読ボランティアグループかもめ

かもめ結成後、昨年10月には定例会開催200回を迎え、これを記念しての朗読会を旧前田侯爵邸にて開催いたしました。窓の外の梢から、鳥の鳴き声も聞こえる素晴らしい環境の中、かもめ企画制作の愉しい朗読会となりました。

山村都



協会の活動報告

●朗読基本講座

千田正穂先生を講師にお迎えし、「朗読基本講座～始める・広がる・深まる～」が、2023年10月、11月、12月にわたる三回の講座を終了しました。

最終講座終了後には、千田先生と加賀美先生を囲み交流会もあり、様々なお話を伺うことができました。

本間尚子

●国分寺市中学校国語教育研究会

2023年10月4日、国分寺市中学校国語教育研究会で、「生徒の興味・関心を引き出すこと～朗読の実践研究を通して～」という講演を行い、先生方に声の広がり方や情景の表し方など体験して頂きました。先生方から「今後の授業に生かせる、私達教員の技術向上にも繋がる貴重な講義でした。」と言って頂きました。

蒔村三枝子

●新任理事及び朗読研鑽委員会、各室長・室員就任について

❶ **新任理事**　倉田ひさし（就任日：2023/8/１）

❷ **朗読研鑽委員会委員**（任期：2023/11/1～2024/9/30）
加賀美幸子　伊澤逸平　阿部俐奈　朝比奈恵美
稲本由美子（新任）　木村さおり

❸ **三室長並びに三室員**（任期：2023/11/1～2024/9/30）

■企画室
室長　伊澤逸平（理事長兼務）
室員　松坂貴久子　山村都

■事業運営室
室長　前尾津也子
室員　朝比奈恵美　阿部公子　木村さおり　田中邦子
本間尚子

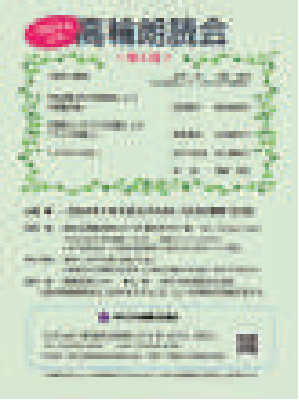
■事務室
室長　山田和雄
室員　小黒三重子　川名まち子　中村悦子　中村純子

協会の活動予定

●第２回「朗読座談会」

2月10日（土）14:00～青山の東京ウィメンズプラザにて「上手い朗読って何？～これで良いのか！　私の朗読　朗読座談会」を開催いたします。会員の皆さまは、後日動画を無料でご視聴いただけます。ぜひ、ご覧ください。

前尾津也子



●第４回「高輪朗読会」

3月9日（土）14:00～高輪区民センター展示ギャラリー室／五十嵐和子・稲本由美子・永井喜代子・小倉紫月（第9回朗読コンクール準優勝者）・宮崎弥生（司会）定員：70名（消防法により満席になり次第、入場をお断りいたします。）

●朗読ボランティア グループかもめ

かもめ結成20周年記念の「かもめ朗読会」を4月７日（日）に開催いたします。企画・構成・脚本（台本）・進行・舞台・照明等全てかもめメンバー制作による朗読会です。

今回も多くのお客様の来場を心よりお待ちしています。

山村都

●第20回記念「朗読の日」

❶第19回「朗読の日」

2024年6月22日、23日は第20回の記念すべき「朗読の日」となります。これまで先人の方たちが積み上げていらした歴史を大切に、新たな協会へ向けての一歩になればと思います。

今回からテアトル・エコーの永井寛孝氏を総合演出家としてお迎えし、倉田ひさし氏とともに新しい演出に挑戦していただきます。楽しく、有意義で実り多い「朗読の日」になりますよう、会員の皆様方のご協力、よろしくお願い申し上げます。

阿部俐奈

掲示板　会員の朗読会と活動情報（2024年2月～2024年8月）

日　程	公演名 ※開催日順・申込み順	場　所	出演者名　※複数の場合は、50音順
2月8日	アンダンテ、リーディング公演　不知火～海の言霊「苦海浄土」より	南青山マンダラ（東京／港区）	蒔村三枝子
2月12日	音楽朗読劇「ゆうれい貸屋」	日本橋社会教育館（東京／中央区）	鵜月光子・前尾津也子
2月17日	第14回三田図書館朗読会	三田図書館（東京／港区）	羽村郁子・宮崎弥生
3月9日	第4回高輪朗読会	高輪区民センター（東京／港区）	五十嵐和子・稲本由美子・永井喜代子
3月10日	朗読アンシャンテ　第１回公演「宮澤賢治の世界」	デイズタウン「あーる」（茨城／つくば市）	木村さおり・本間尚子
3月15～18日	耳よりな…朗読会10	MFY サロン（東京／港区）	河崎早春
3月21日	中西和久銀座朗読会発表会Part 1「時のふるさと」	THE GLEE（東京／新宿区）	中西和久
3月22日	やじろべえ	自由学園 明日館（東京／豊島区）	岡田久美子
3月26日	“nature hommage”（朗読とピアノで楽しむ物語）	東大和市民会館東京／東大和市）	大槻之子
4月7日	第13回かもめ朗読会（20周年記念）	麻布区民ホール（東京／港区）	ボランティアグループかもめ登録会員
4月14日	きらめきサロン朗読会2024春 PART1	希望の郷交流センター（埼玉／三郷市）	松坂貴久子
4月19日	きらめきサロン朗読会2024春 PART2	希望の郷交流センター（埼玉／三郷市）	松坂貴久子
4月21日	OHYA BASE朗読コンサート	OHYA BASE（栃木／宇都宮市）	青木ひろこ
5月11日	第5回高輪朗読会	高輪区民センター（東京／港区）	高輪朗読会登録会員
5月18日	透明な庭～朗読コンサート～「猫町、他」	疎開サロン（東京／荒川区）	青木ひろこ
5月30日	TeaTime 朗読会～柏田道夫を読む	なかの芸能小劇場（東京／中野区）	河崎教室有志
6月1日	喜歌劇「こうもり」	宇都宮市文化会館（栃木／宇都宮市）	青木ひろこ
6月1日	奇跡の朗読会(朗読とピアノ)	紀尾井町サロンホール（東京／千代田区）	大槻之子
6月2日	おとなのための朗読会	茂原市立図書館（千葉／茂原市）	佐藤すみ江
6月22・23日	第20回記念「朗読の日」	銀座博品館劇場（東京／中央区）	NPO日本朗読文化協会
8月8日	被爆ピアノコンサート「未来への伝言」	未定	飯島晶子

事務室からのお知らせ

★会費更新のお願い

2024年度会費の振込用紙を同封しました。３月末日までにお手配をお願い致します。年会費 正会員：12,000円 学生会員：5,000円（学生証のコピーを送付下さい）

★ボランティア保険加入（期間：2024/4～2025/3）のご案内

全会員を基本コースに加入申込み致します（保険料350円は協会負担）。天災コース（保険料600円）をご希望の方は、追加保険料250円を会費と共にお振込ください（通信欄にその旨をご記載下さい）。また、ボランティア保険を他所で加入済の方は事務室へご一報下さい。

★高輪朗読会登録審査の受付及び運営費の支払い

▶審査は年２回、２月末・７月末、審査結果発表は４月・９月です。お読みになりたい作品の冒頭５分間を、音声データ（ＭＰ３推奨・メール添付）にて、２月末までに協会事務室にお送りください。

▶高輪朗読会メンバー（37名）は運営費1,000円（印刷費・送料など）を2024年度より、毎年３月に協会年会費振込用紙通信欄に記載してある“□高輪朗読会運営費1,000円”にレ点チェックし、お振込み下さい。

★朗読教室2024年4月期　申込み受付開始

会員　2月13日（火）10:00～
一般　2月15日（木）10:00～

▶詳細は同封の「朗読教室のごあんない」をご覧ください。

★朗読指導者養成講座2024年度　申込み受付期間

2月1日（木）～3月8日（金）その後選考があります。

▶詳細はホームページまたは同封の「朗読指導者養成講座のご案内」をご覧ください。

★新入会員情報（2023年7月～12月入会23名、入会順）

島村隆一・坂元智香・優木ももか
加藤淳子・村上真喜子・福田義子
中町優子・佐藤幸子・武重幸子
蓮池美恵子・只野洋子
遠藤真理子・加藤ひろみ・田中文・駒井亜由美・宮本由佳理
越光貴子・関口のり子・永井俶子・坪田秀子・庄司彩華
中村雅子・山田雅子

編集後記

2024年の干支は「甲辰」。十干の始まりの甲と勢いのある辰で、革新の時！だそうです。本年6月開催の「朗読の日」は、記念すべき第20回を迎えます。今年もまた、例年にもまして、朗読を楽しみ、そして盛り上げていきましょう！

協会員の皆様の益々のご活躍と協会のさらなる発展を祈念いたします。（A）

担当：朝比奈恵美　阿部公子　木村さおり　田中邦子
本間尚子　前尾津也子

Rodoku News 朗読ニュース 2024年早春号
朗読ニュース 2024年早春号（通巻 57号）発行日／2024年2月1日 発行／NPO日本朗読文化協会
〒105-0003　東京都港区西新橋3-23-6　第一白川ビル3階B-2
TEL：03-6435-8355 FAX：03-6435-8356 E-mail：npo-rodoku@rodoku.org https://rodoku.org/